

— 病院とみなさまのかけ橋 —

ふれあい

CONTENTS

- 医師からのメッセージ … 1
- 新入職員6ヶ月が過ぎて 2~3
- 院内コンサート … 3
- 職場紹介コーナー … 4
- 医療技術ニュース … 5
- 遊びの広場／知得情報 … 6
- 情報ステーション … 7
- ふれあい箱の回答／編集後記 8

脳神経外科部長
野村 契

**医師
からの
メッセージ**

<シリーズ第14回>

三叉神経痛と顔面痙攣のお話

けいれん

性があります。
どちらも原因の9割以上は脳から神経が出るところで血管がぶつかって起ります。

それぞれの特徴を紹介します。

三叉神経痛は発作的に起こる顔の激痛が一番の症状です。人間の感じるなかで最も強い痛みの一つと言われています。

口の中、歯茎から痛みがはじまる事も少なくありません。虫歯の痛みと似ていて歯医者さんで治療しても効果がなく、その後三叉神経痛だったと気づかれる方も多いです。



第十五回目になる「ふれあい」。今回は当院の脳神経外科で多くの治療実績がある三叉神経痛、顔面痙攣についてご紹介します。

あまりなじみの無い病名かもしれませんが、誰にでもなる可能

性があります。
どちらも原因の9割以上は脳から神経が出るところで血管がぶつかって起ります。

治療はどちらの症状の場合もまずは飲み薬で行います。検査の結果、症状の強さによっては早い段階から手術療法をお勧めする場合もあります。

当院では三叉神経痛、顔面痙攣の手術は年間30件以上行い、この疾患の治療で東海地区を牽引する病院として診療に当たっています。

また、ご高齢の方や全身麻酔に問題があり、手術治療ができない方に対しても代わりの治療方法の提案も行なっています。(三叉神経痛では当院のサイバーナイフセンターでの治療も行う事ができ、治療件数も増加しています。)

当院のサイバーナイフセンターだけでなく、関係する他施設との連携や紹介も行っています。

症状に心当たりのある方、現在受けている治療について疑問のある方は脳神経外科にご相談下さい。

また、もう少し詳しい説明は総合青山病院「脳・脊髄センター」のWEBからも見ることができます。

新入職員 6ヶ月が過ぎて



リハビリテーション技術室
理学療法士
神谷 沙織

新入職員として、働き始めて6ヶ月が経とうとしています。患者様から、「先生」と呼ばれます。まだまだ青い私は、なかなか馴染めない呼び方で、毎日右往左往しながら働いています。約40分と、限られた時間の中で、患者様を評価し、変化に気づき、患者様に有効な治療を提供しなければいけません。まだ、治療に関して知識不足なため力及びませんが、患者様としっかり向き合い、自分のできる最大限で患者様と接していきたいと思います。



健診センター 医療事務
青野 早希

入職してからの6ヶ月間、学ぶ事も多く、不安もありましたが、毎日充実した日々を送る事ができました。初めはなかなか仕事を覚える事ができず周りに迷惑を掛けてしまう事もありましたが、先輩方のサポートのおかげでここまで乗り越える事が出来ました。まだまだ自分には至らない点がありますが、少しでも改善できるように色々な事を吸収し、成長していきたいと思います。そして、これからも多くの患者様のお役に立てるよう誠心誠意努めていきたいです。



医事課 医療事務
大久保 雅英

総合青山病院の職員として働き出し、今までの学生生活とは違う充実感があり、あっという間に半年が過ぎようとしています。覚えること、考えること、やるべきことがたくさんあり、社会人としての責任感に追われてしまう時期も少しありました。ですが、患者様や職員の皆さんに良くして頂き、楽しく仕事ができます。まだまだ分からないことだらけで迷惑をかけてしまいますが、精一杯笑顔で頑張ります。これからもよろしくお願いします。

リハビリテーション技術室
理学療法士
彦坂 潤



本年度より総合青山病院リハビリテーション技術室に勤務している理学療法士の彦坂潤です。当院で働き始め6ヶ月が過ぎましたが、まだまだ慣れないことばかりで、日々があつという間に過ぎていく印象です。そんな中でも、担当している患者様の状態が日に日に改善していくのを実感でき、とてもやりがいを感じています。まだまだ未熟ではありますが、「あなたにリハビリをしてもらえて良かった」と言って頂けるような理学療法士になれるよう、今後とも精進して参りたいと思います。

リハビリテーション技術室
理学療法士
庄田 圭佑



今年の四月に入職したリハビリテーション技術室の理学療法士、庄田圭佑と申します。私は回復期病棟で患者さまにリハビリをさせていただいている。とても雰囲気の良い職場で、毎日楽しく働かせていただいている。日々、患者様や先輩方から多くのことを学ばせていただいている。当院の理念である「患者さま側に立った全人的医療」を心がけ、これからも頑張っていきたいと思います。

『支えになれる看護』をめざして

3病棟 看護師 根木 衣理佳



病棟に配属されてから半年が経ちました。今、印象に残っているのは、末期がんで余命宣告された患者さまとの関わりです。

ある日先輩看護師と患者さまの体を拭いていると、「自分でできないなんて情けない」と泣き出しそうにおっしゃいました。私は何と返事をしていいかわからずいたのですが、先輩は患者さまの手を握り、「私たちにできることがあれば何でも言ってくださいね。どんな小さなことでもいいので。それが私たちには嬉しいんですよ。」と優しく声をかけました。その瞬間、患者さまの目から涙がどっとあふれ、先輩の手を強く握り「ありがとう」と何度もおっしゃいました。

私が看護師になり、内科を希望したのは、入院が長期になりやすい病棟で、辛い気持ちを少しでも和らげてさしあげたいと思ったからです。この経験から、先輩のような看護師になりたいという目標ができました。まだまだ慣れない業務のある中で、知識不足や効率の悪さなどから時間がかかってしまい、患者さまの話をしっかり聞く余裕がありません。しかしこれからは、『患者さまの支えになれる看護』とは何か考えながら日々の関わりを大切にし、また尊敬する先輩方を目指し頑張っていきたいと思います。

〈上司より〉

学校を卒業して半年がたち、少しずつ自分の目指す看護が見えてきています。日頃の手技や患者さまへの対応はまだまだ不十分なところはありますが、一生懸命仕事に取り組む姿勢、看護を学ぼうとする意欲があり、私たちも刺激を受けています。これからも共に学び、看護する喜びを共に感じてがんばっていきましょう。

院内コンサート

新城吹奏楽団 サマーコンサート



7月14日(土)に新城吹奏楽団によるサマーコンサートが当院の外来ロビーにて行われました。新城吹奏楽団は地元新城を中心に活動しており、市民ホールでの定期演奏会やボランティアでの施設訪問やイベントへの参加などを行なっているそうです。今回の訪問では入院患者さん達にも馴染みの深い時代劇メドレーや演歌メドレーさらにAKB48の楽曲まで非常に幅広い世代の楽曲の演奏を行なって頂きました。

日頃、なかなか耳にすることのない総勢30名の大迫力の演奏で、見る人達も圧倒されるほどの素晴らしい演奏会でした。

広報委員会 藤澤 大

まだまだ陽ざしの厳しい8月25日土曜日のひととき、地元☆かわしんバンドの皆さんによるコンサートが開かれました。

ピアノ、フルート、バイオリンのクラシック系&声楽と、エレキ系のギター、ピアノ&歌で一生懸命演奏してくださいました。患者さまたちも真剣に見つめていましたね。外来ホールは、ひとりひとりの患者さまの思いに触れる、懐かしい曲、心躍る曲で満たされました。

広報委員会 成田 悅子

地元☆かわしんバンド





職場紹介コーナー

VOL.15

健診センター

事務 山崎 敦史

初めまして、10月9日にデビューブーしました総合青山病院健診センタースタッフです。健診センター長を中心に保健

師、看護師、臨床検査技師、放

射線技師、そして皆様をご案

内する受付事務スタッフになります。

健診業務が新館に移り、心新たにスタッフ一同皆様のサポートをさせて頂きますので

よろしくお願い申し上げます。本館2階の健康管理センターで健診を受けて頂いた時には外来患者様の合間に実施せざるを得なかつた関係で、当日の混み具合によっては診察前に大変お待たせしてしまったこともあります。また検査も外来患者様用に時間を確保しなければならないことから健診をお断りしたり、ご希望の日にご予約を承ること

ができないこともありました。このようないい部分は、健診センターを本館から分離独立させることによって大幅に改善しております。

さらに、健診センターの工事期間中は、ご来院の皆様や入院中の患者様には騒音や工事車両の出入りで何かとご不便をおかけ致しましたが、皆様の多大なご理解により無事完成の日を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。本当に有難うござります。

当健診センターでは、「もっと健康、ずっと元気」を合い言葉に、より精度の高い健診センターを目指し、疾患の早期発見に努めて参ります。そして疾患が発見された場合には各診療科の専門医による診断・早期治療を受け頂くことで皆様の健康増進の一助となることができれば幸いです。

人間ドック、脳ドック、豊川市の住民健診、特定健診、定期健診、婦人科検診など各種健診が実施できますので、年に一度はご自身の為、大切なご家

ご利用のご案内

ご予約は3ヶ月前から承ります。人間ドック・脳ドックは総合青山病院のホームページにてご予約受付もできますので是非ご覧下さい。

ご予約受付 TEL0533-73-3784

平日／午前8:30～12:00
午後1:30～5:30

木・土曜日／午前8:30～12:00

健診センター営業のご案内(受付時間)

平日／午前8:15～12:00
午後1:30～4:30
木・土曜日／午前8:15～11:00

最後にセンター長以下スタッフ一同皆様の健康維持・増進のため全力を尽くして参る所存でありますのでよろしくお願い申し上げます。



人工呼吸器について

臨床工学室
主任
飯見慶一

で、医療事故を防ぐための機能もまた、新しい機種ほど備わっているのも事実です。

当院にも、9

台（3機種）の

人工呼吸器が設置されています。

その中には、肺



現在の人工呼吸器
「ハミルトンC2」

人工呼吸器は、数時間から数年の長い時間に渡って人工呼吸を自動的に行うための医療機器であり、かつては首から下の全身を機械の中に入れ、その機械の中を陰圧（1気圧以下の気圧）にして胸腔に空気が吸入されるようする「鉄の肺」が一部の病院で使われていました。これは大掛かりな設備であり、受けられる患者さんも限られていました。やがて気管挿管が一般的になると、その挿管チューブを介して空気を出し入れする現在の方式（陽圧換気）が普及してきました。

現在では呼吸の状態を様々な形で持続的に測定する機能のついたもの、呼吸器の離脱を自動的に進めて行くもの、在宅人工呼吸に使用する小型で医療従事者以外でも操作

できるもの、マスクを使用し気管挿管の必要のないもの（非侵襲的人工呼吸）まで実際に様々な種類が使われています。しかし、それぞれに操作が異なり、また独自の動作モードや作動原理を持つたものが特におい、医療事故の一因ともなります。その一方



ペントステータス 画面

のコンプライアンス（肺の膨らみやすさ）や気道抵抗（気道が狭いか広いか）を測定し、患者さんの自発呼吸の変化に応じ設定条件を自動調整し、患者さんの肺になるべく負担のないよう動作する「適応補助換気モードASV（Adaptive Support Ventilation）」や、肺の状態をグラフィック表示し、各計測値の変化や自発呼吸の出現が一目でわかる表示機能（ダイナミックラング機能）や、人工呼吸器から離脱する時期を分かりやすく表示する機能（ペントステータス機能）を備えた最新式の人工呼吸器も設置しておりますが、医師の指示の下で、臨床工学技士および看護師、またその他スタッフでチーム医療として、ケアおよび人工呼吸器の管理をしており、人工呼吸器の取扱いについて院内勉強会も適時行っていますので安心して使用できると思います。



ダイナミックラング 画面



●答えは8ページ目をご覧下さい。



知っ得情報

第13回

嚥下機能評価入院のご案内

地域医療連携室 彦坂 明美

当院では平成24年9月より2泊3日の入院のもと嚥下機能評価を行なうようになりました。最近飲み込みが悪くなったり、咽ることが多くなった方、胃ろうでの栄養管理を行っているがもう一度、口からの食事摂取を検討されたい方…など、みえましたらご依頼下さい。

えんげ 嚥下とは

ものを飲み込むことをいいます。普段私たちはものを口へ取り込み、噛んで、飲み込む(嚥下)ということをしています。

えんげ なぜ嚥下評価が必要なのか

食道に入るはずの飲食物が、誤って気管に入ることを誤嚥といいます。誤嚥が原因で肺炎などを引き起こしてしまうこともあるため、誤嚥を防ぐ必要があり、そのため嚥下がきちんと機能しているかどうか評価する必要があります。評価をすることで、安全に食べいただける方法を見つけることができます。

日程の流れ

入院当日 午前中に問診や入院手続き、午後から嚥下機能検査

2・3日目 検査結果の説明、経過観察、栄養指導

※事前に内科受診していただき入院日を決めさせていただきます。

対象の方

在宅療養中の方だけでなく、介護施設に入所中の方でも結構です。

実施内容について

えんげ ぞうえい
嚥下造影検査、食事指導

えんげ ぞうえい 嚥下造影とは?

レントゲンをあてながらバリウムの入った食品を実際に口から食べいただき、嚥下が正常に行なわれているか確認します。検査の結果、嚥下機能が低下していると診断された場合には、食事形態(例:キザミ食など)の変更などの指導をさせていただきます。

申し込み方法

本館1階正面入り口を入ってすぐ右、ATM前の地域連携室が窓口となっております。

金額

H24年の当院での実績平均より

例:保険負担割合1割 入院期間3日

患者さま負担
約9,000~12,000円 + 食事負担額 + その他

※患者さまの負担は保険証、また対象となる傷病名によって異なり、治療内容によっても金額は異なります。

情報ステーション

内臓脂肪が気になる方へ!!

あなたの内臓脂肪を測ります!

CTスキャンであなたについての脂肪を測ります。

内臓脂肪CT検査「ファットスキャン」

料 金 (税込)

- 1.検査料金 (単独) 3,150円
- 2.ドック・健診時オプションの場合 2,000円



血管年齢測りませんか? あなたの血管は大丈夫ですか?

わずかな時間で簡単に動脈硬化が測定できます。

当院では

血管の状態を見るための簡単な検査を行っています。

検査は両手、両足首の4カ所の血圧を同時に

測定するだけなので、気軽に受けられます。

わずかな時間で測定することのできる、

とても簡単な検査です。



動脈硬化を放っておくと…



動脈硬化とは?

血管の壁に脂肪などが沈着して厚くなり、血管の内腔(血液の通り道)が狭くなることや、血管の壁が硬くなり、弾力性(しなやかさ)が失われてもろく壊れやすい状態になります。放っておくと、心疾患(狭心症・心筋梗塞など)や脳血管疾患(脳梗塞・脳出血)などの大変な病気を引き起こす恐れがあります。

詳しくは、当院スタッフまでお気軽におたずねください。

第18回

院内コンサート のお知らせ

★ RAKUDAチャイムクワイイヤによる ★

トーンチャイム クリスマスコンサート

日時 平成24年 12月22日(土)
午後1時30分~(約50分)

場所 本館1階外来ホール

参加 自由(無料)



健診のお知らせ

もっと健康。ずっと元気。

1年に1度は
健診を受けましょう。



総合青山病院 健診センター
問合せ▶0533-73-3784

<http://www.aoyama-hp.or.jp>

ふれあい箱の回答

たくさんのご意見ありがとうございます。

- 仕事終わりに急いで面会に来たところ、面会時間が短すぎてあまり話すことができなかつた。朝の面会も脳梗から行つべきでは? 患者は暇でやることもなく時間を無駄にしているのかわいそうだと思う。患者のことをしっかりと考えることが病院では大切なことなのではないだろうか?

お見舞来院者さま・男性

- 仕事等の都合で仕方なく…というのなら我慢するが、平日の朝から時間を気にする素振りもなく、当たり前のように来る訪問客。なんのための面会時間なんか? 警告や注意を促す様子もない病院側にも、患者の治療・療養のためという認識があまりにも低いと感じた。病気を治すために入院をしているのだから療養環境をしっかりと作ってもらいたい。訪問客に面会時間をしっかりと守らせて下さい。

入院患者さま

回答

どちらも貴重なご意見で、ご指摘頂きましたことに感謝いたします。面会は患者さまの安静を保ち、一日も早い回復のために時間を定め運用しております。午前中は患者さまの体調の確認や、治療処置を行うため面会時間を設けておりません。しかし、時間外でも、談話コーナーでの面会など可能な限りご希望に沿えるようにスタッフ一同務めております。何卒ご理解頂き、面会時間をお守り頂きますようお願い申し上げます。

お褒めの言葉

温かいお言葉をありがとうございました。今後も、まさに安心していただける医療を目指していきます。

今日、手術の説明を受けました。とても不安で心配です。しかし、先生や看護師さんがとても優しくて親切だと思います。よろしくお願いします。青山病院を紹介してもらつてすぐよかったです。

入院患者さま・女性

看護師さんの笑顔は病人としては一番の薬になります。病院の教育が良いのか、皆さんの礼儀の良さには感心しました。

入院患者さま・女性



たくさんのご意見ありがとうございました。

病院の理念

患者さま側に立った全人的医療を目指します

基本方針

地域の中核病院として安全で質の高い医療に努めます
患者さまが安心出来るゆきとどいた診療を提供します
患者さまに信頼されるゆきとどいた看護を提供します
患者さまに満足されるゆきとどいたサービスを提供します
患者さまがやすらげる快適な環境を提供します

患者さまの権利

1. 適切で質の良い医療を受ける権利を有します
2. ご自分の医療の内容について知る権利と説明を受ける権利を有します
3. ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します
4. ご自分の医療について他の医師の意見を聞く権利を有します
5. 人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します
6. ご自分の診療録の開示を求める権利を有します

遊びの広場の解答



編集後記



暑かった夏も過ぎ去り、そろそろ秋の足音が聞こえてきました。秋は美しい紅葉とおいしい食べ物(体重の増加は気になりますが...)がたくさんあり、四季のなかで私の一番好きな季節です。今年こそは京都へ紅葉を見に行こうと思っています。皆さん、オススメの場所はありませんか?ぜひ教えてください。

また、朝夕の気温の変化で体調を崩しやすい季節です。うがい、手洗いを心がけバランスのよい食事で栄養を摂り、病気に負けないための体づくりをしましょう。冬に流行するインフルエンザの影響も毎年気になりますよね?予防接種はもうお済みですか?冬を元気に乗り切る為の準備を一緒にていきましょう!

今後とも広報誌「ふれあい」をよろしくお願いします。